

(様式2)

県立高校指定校事業（令和4年度指定）単年度計画書

学校名	横浜氷取沢高等学校 (全・定・通)	校長名	小河 多香路
指定名	グローバル教育研究推進校	年度	令和4年度～6年度
研究主題	本校のグラデュエーション・ポリシーである「グローバル人材に求められる資質・能力の育成」に向けて、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育を推進するとともに、すべての教科において、それぞれの教科特性を踏まえ、教科横断的に取り組む指導と評価の研究		
本年度の研究内容	<p>(1) 本年度の目標</p> <p>育成すべき「グローバル人材に求められる資質・能力」について全職員で共通認識をもち、「研究主題」「3年間の目標と研究内容」等の共通理解をもつ。</p> <ol style="list-style-type: none">全教科における教科横断的な取組<ul style="list-style-type: none">今年度の校内授業研究テーマを設定し、研究テーマを踏まえた授業改善に取り組む。英語教育における取組<ul style="list-style-type: none">4技能5領域における各領域別の効果的な言語活動を研究し授業改善を行う。校内スピーチコンテスト、プレゼンテーションコンテストを計画的に実施する。国際理解教育の取組<ul style="list-style-type: none">「総合的な探究の時間」における系統的な指導計画について課題の整理を行う。姉妹校等の交流については、感染状況を踏まえ、オンライン等の交流を充実させる。外部機関との連携<ul style="list-style-type: none">グローバル教育に係る講演会を実施する。 <p>(2) 目標実現のための具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none">全教科における教科横断的な取組<ul style="list-style-type: none">今年度の校内授業研究テーマを「他者の考えを知ることで、自分の考えを広げる指導と評価の研究」(仮)とし、研究テーマを踏まえた授業改善と公開授業研究を行う。英語教育における取組<ul style="list-style-type: none">4技能5領域における各領域別の言語活動について教科で情報共有を行い、実践する。校内スピーチコンテスト、プレゼンテーションコンテストについては、10月の実施に向け、前期から英語の授業の中で計画的な指導を行う。国際理解教育の取組<ul style="list-style-type: none">各学年の「総合的な探究の時間」における担当者において、これまでの指導計画についての課題を共有し、課題解決に向けた取組を行う。姉妹校等の交流については、韓国・オーストラリアにニュージーランドの高校も加え、感染状況等を踏まえつつ、直接交流とオンライン交流を交えた交流について検討する。外部機関との連携<ul style="list-style-type: none">グローバル教育に係る講演会において外部人材を活用する。 <p>(3) 成果の検証方法及び成果指標</p> <ol style="list-style-type: none">「校内授業研究テーマ」に基づき、全教科でそれぞれの教科特性を踏まえた指導と評価の研究を行うことができたか。「魅力と特色づくりアンケート」のうち、「主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力等を高めることができたと思う高校生の割合」(「満足している」と「どちらかと言えば満足している」の合計)が93%以上であったか。(昨年度は91.5%)「生徒による授業評価」のうち、次の質問項目において、肯定的な回答の割合がすべての教科で前年度より向上したか。・「単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。」・「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。」・CEFRのA2レベル以上相当を達成する生徒の割合が50%以上。 ・実用英語技能検定の受検者数や合格者数が昨年度より向上したか。		
その他特記事項			